学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 理科

科目名 ：	物理基礎	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 8 回
使用教科書 ：：改訂 新編 物理基礎 （東京書籍）			
学習書 ・副読本 ：：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	６ 枚	２ 枚	２ 枚	２ 枚
スクーリング [S]	１８ 回	７ 回	６ 回	５ 回
テスト [T]	２ 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

運動と力の関係、エネルギー等、物理の基本法則を学びます。
また、電磁波や放射線など、健康とかかわりが深いことについても、物理の見方で考えます。
レポートは教科書と計算で完成させることができます。テストは主にレポートから出題します。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって、物理学的に探究する能力と態度を育み、物理学の基本的な概念や原理、法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：観察・実験の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中の問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動とエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・記述の点検（レポート）	・記述の点検（レポート）	・観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート）	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

・年度末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	物体の運動と力	速さと速度 等速直線運動 等加速度運動 力について 運動の法則 落下運動 (実験) 日常に潜む力	○	○	○	○	a:物体の運動と力について意欲的に関心をもつことができる。 b:物体の運動と力の関係を表すことができる。 c:落下運動の実験により、観察、技能を身につけることができる。 d:物体の運動と力の関係を理解することができる。	・定期考査 ・レポート
2範囲	仕事とさまざまなエネルギー①	仕事とエネルギー 力学的エネルギー 熱エネルギー 熱と仕事 波(1) 波(2)	○	○		○	a:エネルギー、波などの物理現象に関心をもつことができる。 b:エネルギー、波などの現象を考え、表現できる。　d:仕事と関連付けながら様々なエネルギーとのかかわりを理解することができる。	・レポート
3範囲	さまざまなエネルギー②	電気(1) 電気(2) 電気と磁気(1) 電気と磁気(2) 原子とエネルギー	○	○		○	a:電気や原子ついて、関心をもつことができる。　b:電気の利用について、考え表現することができる。　d:電気について基本的な仕組みを理解する。	・定期考査 ・レポート

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：観察・実験の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。